

# 家 庭

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

<b>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</b>	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
<b>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</b>	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 日常生活の中から課題を発見して解決方法を考え、実践を評価・改善することができるよう工夫されているか。
	(5) 身に付けた知識や技能を実際の生活に生かすことができるよう工夫されているか。
	(6) 学年の発展性や系統性、他教科との関連を図れる題材となっているか。
	(7) 製作、調理などの実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な学習活動を行う上で、資料は活用しやすいものになっているか。
<b>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長</b>	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

### Ⅲ 具体項目

家庭

観点	発行者	東 書	開隆堂
<p>1 長 教 育 基 本 法 の 理 念 や 第 三 期 長 崎 県 教 育 振 興 基 本 計 画 の 趣 旨 ・ 内 容 を 踏 ま え て、 豊 か な 人 間 性 の 育 成 を 図 る 上 で の 特</p>	<p>(1) か 像 育 科 の 目 標 特 質 に 応 じ て、 「 教 育 の 目 的 」 及 び 「 教 育 成 果 の 達 成 」 に 資 す る 内 容、 構 成 と な っ て い る 間 教</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決的な学習が繰り返し行えるよう構成するとともに、学習を振り返りながら、自分の成長を実感できるよう「成長の記録」を見開きで設定することで、よりよく生きるための豊かな心を育むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様性に配慮し、さまざまな年代や国籍の人を登場人物とすることで、異なる文化的背景をもつ人々と協働しつつ、社会の変化に主体的にかかわるための資質・能力を育むことができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) 学 ぶ さ と 長 崎 の 伝 統 ・ 文 化 や 歴 史、 自 然 に つ い て 理 解 を 深 め る 生 か せ る 題 材 が 扱 わ れ て い る か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ だしの旨味を生かした全国各地の「地域の汁物」や米・大豆・みそを使った「地域の料理」を紹介することで、自分たちの地域に伝わる食品や料理について、関連付けて学習することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 「煮干し」「カステラ」「具雑煮」などの食材や郷土料理を掲載することで、長崎の食材や食文化などに気付くことができるよう配慮されている。</li> </ul>	

### Ⅲ 具体項目

家庭

観点	発行	東 書	開隆堂
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) か。基礎的・習得的な知識・技能が確実に習得されるような工夫がなされている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各小題材の初めに学習の「めあて」、終末にそれに対応した「振り返り」を設定することで、既存の知識や自分の経験と関連付けながら、知識や技能を確実に習得することができるよう工夫されている。</li> <li>「いつも確かめよう」のコーナーを設定し、学習内容に関連する事柄を手順に沿って示すことで、基礎的・基本的な知識が確実に習得されるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材において、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な内容の学習へと系統的に展開することで、無理なく知識や技能を確実に習得することができるよう工夫されている。</li> <li>「豆知識」のコーナーを設定し、学習内容に関連する事柄を補足することで、基礎的・基本的な知識が確実に習得されるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) いる知識・技能が育成されるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の学習の中に実践的・体験的な活動内容を設定することで、実感を持って理解する学習を展開し、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> <li>巻頭の「家庭科の窓」では、家庭科における見方・考え方を簡潔に説明するとともに、各題材の導入の「家庭科の窓」では、主な見方・考え方を示すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「考えよう」「調べよう」「話し合おう」「やってみよう」の課題を設定することで、他者の考えを聞いたり、自分の生活経験と関連付けたりしながら、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> <li>巻頭の「四つ葉のクローバー」では、家庭科における見方・考え方を簡潔に説明するとともに、各題材の導入の「四つ葉のクローバー」では、主な見方・考え方を示すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(3) く主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての題材において「ステップ1～3」の学習展開を設定することで、問題解決的な学習を繰り返しながら、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。</li> <li>「成長の記録」や「2年間のまとめ」を設定することで、自分の成長を実感し、学んだことをこれからの学習や生活に生かそうとする主体的な態度を養うよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の交流場面を掲載したり、記述スペースを設けたりすることで、生活の課題について自分の考えをもちながら、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。</li> <li>「2年間の学習の振り返り」を設定することで、学んだことをこれからの学習や生活に生かそうとする主体的な態度を養うよう工夫されている。</li> </ul>

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	開隆堂
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) よ評し日 う価て常 工夫解生 さ決活 され方の中 れて考から いることえ課題 か。で実践を でき発 るを見</p>	<p>・「夏休みわくわくチャレンジ!」「生活を変えるチャンス!」や、題材を3つのステップで展開し、ステップごとに「ふり返ろう」を設定することで、実践の評価・改善を繰り返すことができるよう工夫されている。</p>	<p>・各題材の導入に「なぜ」「どのように」などの問いかけ、終末に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」を設定することで、日常生活の中から課題を発見したり、自分の学習活動を評価したりすることができるよう工夫されている。</p>
	<p>(5) 工生身 夫活に さ付 され生 れてか いた知 す知識 ことか がや で技能 きるを る実 よう際 の</p>	<p>・「生活を変えるチャンス!」のコーナーを設定し、実践の進め方や実践及びまとめ方の例を示すことで、日常生活の中から課題を見付け、計画を立てて実践し、発表、評価・改善する活動に主体的に取り組み、身に付けた知識や技能を生活の中で生かすことができるよう工夫されている。</p>	<p>・「レッツトライ生活の課題と実践」のコーナーを設定し、実践の進め方や時期の例を示すことで、日常生活の中から課題を見付け、計画を立てて実践し、評価・改善、発表する学習活動に主体的に取り組み、身に付けた知識や技能を生活の中で生かすことができるよう工夫されている。</p>
	<p>(6) る図性学 かれ年 る他の 題教発 材科展 とな性 つや っ系統 て連 いを</p>	<p>・他教科や他学年、中学校の学習内容やプログラミングなどとの関連を表すマークを付けることで、発展的・系統的な学習ができるよう工夫されている。</p>	<p>・「関連リンク」や「2年間の学習を中学校につなげよう」のコーナーを設定することで、他教科や他学年、中学校の学習内容を意識することができるよう工夫されている。</p>
	<p>(7) い動実観 し実践察 る行的・ か。すう調 すい上理 いもで、 もの、的 に資な な料な つは学 て活習 活の</p>	<p>・製作や調理などの実習では、手順ごとの大きな写真や図、ポイントを押さえた吹き出し、安全面への注意を促す「安全マーク」を示すことで、自主的かつ安全に学習活動を進めることができるよう工夫されている。</p>	<p>・製作や調理などの実習では、児童の目線と同じ角度の写真を使用したり、安全面への注意を促す「安全マーク」を示したりすることで、自主的かつ安全に学習活動を進めることができるよう工夫されている。</p>

Ⅲ 具体項目

編点	発行者	東 書	開隆堂
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、 豊かに 分かなり 記述内容 とすく、 質・量 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章にイラストや写真を添えたり、専門的な用語には脚注で解説を加えたりすることで、内容を理解しやすいよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要語句は太字で書体を変えて示したり、語句の意味を文章中で説明したりすることで、内容を理解しやすいよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) 学習意欲 を高める ための 挿絵や 図表など は、 学習効果 に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に衛生・安全に関する特集ページを掲載したり、巻末に実寸大の写真に掲載したりすることで、自分の手元と比較しながら、安全に製作や調理の実習を進めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作や調理などの学習では、細部を拡大写真やイラストで分かりやすく表現したり、丸囲みや矢印でポイントを示したりすることで、作業の状況を確認しながら安全に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(3) レイアウト や色彩、 文字の 大きさ、 挿絵の 活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁縫用具やミシンなど、初めて取り扱う題材では、名称に振り仮名をつけたり、写真のそばに使い方を示したりすることで、学習に活用しやすいよう配慮されている。</li> <li>資料には、太い罫線や背景に色を使用することで、本文と資料部分が明確に区別できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作や調理などの実習では、手順を示す部分の背景を着色したり、見開きで大きく横並びにしたりすることで、学習に活用しやすいよう配慮されている。</li> <li>写真や挿絵などを大きく掲載することで、見やすく分かりやすいよう配慮されている。</li> </ul>